

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成25年2月28日(2013.2.28)

【公開番号】特開2011-147609(P2011-147609A)

【公開日】平成23年8月4日(2011.8.4)

【年通号数】公開・登録公報2011-031

【出願番号】特願2010-11355(P2010-11355)

【国際特許分類】

A 6 1 B 3/10 (2006.01)

A 6 1 B 3/12 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 3/10 R

A 6 1 B 3/12 E

A 6 1 B 3/10 Z

【手続補正書】

【提出日】平成25年1月11日(2013.1.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被検者眼が覗く検査窓を介して、光源から出射した少なくとも一部の光を被検者眼の所定部位に向けて投光すると共に被検者眼の所定部位からの反射光を受光素子で受光して被検者眼の撮影画像を得る撮影光学系を有する眼科撮影装置において、

前記検査窓に装着される光学アダプターの装着状態を検知する装着状態検知手段を備えることを特徴とする眼科撮影装置。

【請求項2】

請求項1の眼科撮影装置において、

前記装着状態検知手段は、前記検査窓に対する前記光学アダプターの装着が適正か否かを検知する適否検知手段を有し、

前記適否検知手段による検知結果を報知する報知手段と、

を備えることを特徴とする眼科撮影装置。

【請求項3】

請求項1又は2の眼科撮影装置において、

前記光学アダプターは、被検眼に対する焦点位置を眼底から前眼部へと移動させるレンズ系を持つアダプターであって、

前記光学アダプターの装着を検知したときに前記装着状態検知手段から出力される出力信号に基づいて眼底撮影モードから前眼部撮影モードに切換えるためのモード切換信号を発するモード切換手段と、

を備えることを特徴とする眼科撮影装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

(1) 被検者眼が覗く検査窓を介して、光源から出射した少なくとも一部の光を被検者眼の所定部位に向けて投光すると共に被検者眼の所定部位からの反射光を受光素子で受光して被検者眼の撮影画像を得る撮影光学系を有する眼科撮影装置において、

前記検査窓に装着される光学アダプターの装着状態を検知する装着状態検知手段を備えることを特徴とする。

(2) (1)の眼科撮影装置において、

前記装着状態検知手段は、前記検査窓に対する前記光学アダプターの装着が適正か否かを検知する適否検知手段を有し、

前記適否検知手段による検知結果を報知する報知手段と、
を備えることを特徴とする。

(3) (1)又は(2)の眼科撮影装置において、

前記光学アダプターは、被検眼に対する焦点位置を眼底から前眼部へと移動させるレンズ系を持つアダプターであって、

前記光学アダプターの装着を検知したときに前記装着状態検知手段から出力される出力信号に基づいて眼底撮影モードから前眼部撮影モードに切換えるためのモード切換信号を発するモード切換手段と、

を備えることを特徴とする。